

| | | | | | |
|---------|---|-------|------|----------------------|-------|
| 授業科目名 | 国際保健特論Ⅱ <i>Advanced Studies in Global Health II</i> | | 担当教員 | 乗越 千枝、守山 正樹 小川 里美 | |
| 開講年次 | 1年後期 | セメスター | 2 | 時間数(単位数) | 30(2) |
| 必修選択 | 専攻領域必修 | 授業形態 | 講義 | 使用教室 | |
| 授業の目的 | 災害・国際協力、ヘルスプロモーションの各分野において、主要な概念、諸理論、方法論について探究し、各分野における専門性発展のための方法を検討する。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニティ・アセスメントの概念、理論、方法・手法を用いて、保健看護活動の計画、実施、評価を行うことができる。 2. 健康の危機的状況を分析的にとらえる概念や理論を活用して、介入の課題を考察できる | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1回 コミュニティ・アセスメントの概念(乗越) 2回 コミュニティ・アセスメントの手法と国内での実際①(乗越) 3回 コミュニティ・アセスメントの手法と国内での実際②(乗越) 4回 コミュニティ・アセスメントの手法と国内での実際③(乗越) 5回 コミュニティ・アセスメントの手法と国外での実際①(守山) 6回 コミュニティ・アセスメントの手法と国外での実際②(守山) 7回 自然災害時の健康と看護①(急性期・慢性期)(小川) 8回 自然災害時の健康と看護②(復興期、準備期)(小川) 9回 人為的災害時の健康と看護①(紛争下にある人々の健康)(小川) 10回 人為的災害時の健康と看護②(難民・避難民の健康)(小川) 11回 開発協力①(小川) 保健人材開発の戦略と課題 12回 開発協力②(小川) 開発途上国における保健人材育成の取り組みの実際 13回 災害・国際協力、ヘルスプロモーションに関する最近の国内外の文献(事例を含む)を院生が選択し、抄読・クリティークを行う(1)(乗越、守山、小川) 14回 災害・国際協力、ヘルスプロモーションに関する最近の国内外の文献(事例を含む)を院生が選択し、抄読・クリティークを行う(2)(乗越、守山、小川) 15回 災害・国際協力、ヘルスプロモーションに関する最近の国内外の文献(事例を含む)を院生が選択し、抄読・クリティークを行う(3)(乗越、守山、小川) | | | | |
| 学習方法 | 授業は、教員による講義および院生によるプレゼンテーションとディスカッションにて進めます。プレゼンテーション資料は、前週までに提示してください。各院生は事前学習を行い、授業に参加してください。 | | | | |
| オフィスアワー | 金曜日の昼休み、もしくはメールで事前に連絡をとってください。 c-norikoshi@jrckicn.ac.jp(乗越) ma-moriyama@jrckicn.ac.jp(守山) s-ogawa@jrckicn.ac.jp(小川) | | | | |
| テキスト | 特に指定しない | | | | |
| 参考文献 | 国際保健特論Ⅰに準ずる。他、適宜紹介する。 | | | | |
| 評価方法 | 授業への参加度(10%) プレゼンテーション(40%) レポート(50%) | | | | |